

科 目 名	シーケンス制御Ⅱ Sequence ControlⅡ			担当教員	田嶋 眞一		
学 年	5 年	学 期	後期	履修条件	選択	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	11C05_30892	単位区別	学修
学習目標	あらゆる工業分野において、生産の面ではシーケンス制御による工程の自動化・省力化が広く浸透し、いまや産業界を支える技術の大きな柱となっている。このシーケンス制御の基礎的事項の考え方について理解する。 さらに、対象となる機器の動作仕様から、シーケンス制御の制御回路を設計する方法を習得するとともに、制御の現場でよく使われているプログラマブルコントローラ（シーケンサ）を用いて演習を行う。						
進め方	教科書に沿った講義を行う。授業中適宜演習を行う。復習を忘れないこと。 期間中3回程度のレポート提出を課す。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. プログラマブルコントローラ（2）			プログラマブルコントローラがどのようなものかを理解する。 D2:1-2,D3:2			
	2. シーケンス制御の演習（信号装置）（2）			対象となる信号装置の動作仕様を理解し、シーケンス制御回路を設計するとともに、プログラマブルコントローラを用いて確認する。D2:1-2,E2:1-3,E3:1-3,E4:1-2			
	3. "（2）						
	4. シーケンス制御の演習（先着判定装置）（2）			対象となる先着判定装置の動作仕様を理解し、シーケンス制御回路を設計するとともに、プログラマブルコントローラを用いて確認する。 D2:1-2,E2:1-2,E3:1-3,E4:1-2			
	5. "（2）						
	6. シーケンス制御の演習（部品供給装置）（2）			対象となる部品供給装置の動作仕様を理解し、シーケンス制御回路を設計するとともに、プログラマブルコントローラを用いて確認する。 D2:1-2,E2:1-2,E3:1-3,E4:1-2			
	7. "（2）						
	[後期中間試験]（2）						
	8. 後期中間試験の返却と解説（2）			対象となる品種判別装置の動作仕様を理解し、シーケンス制御回路を設計するとともに、プログラマブルコントローラを用いて確認する。 D2:1-2,E2:1-2,E3:1-3,E4:1-2			
9. シーケンス制御の演習（品種判別装置）（2）			対象となる少量多品種加工装置の動作仕様を理解し、シーケンス制御回路を設計するとともに、プログラマブルコントローラを用いて確認する。 D2:1-2,E2:1-2,E3:1-3,E4:1-2				
10. "（2）							
11. "（2）							
12. シーケンス制御の演習 （少量多品種加工装置）（2）							
13. "（2）							
14. "（2）							
後期末試験							
15. 後期期末試験の返却と解説（2）							
評価方法	定期試験を60％，レポートを20％，小テストなどを20％の比率で総合評価する。						
履修要件	シーケンス制御Ⅰを履修していること						
関連科目							
教 材	教科書：萩原國雄，山城健太郎著 「シーケンス制御入門」 理工学社						
備 考	わからないことは、授業中適宜質問すること。放課後は、E-mail[tashima@es.kagawa-nct.ac.jp]で予約することが望ましい。						